

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年4月

計画の名称	56 氷見市における安全・安心な道路交通環境の整備推進 (防災・安全)
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)
計画の目標	交付対象 氷見市

老朽化した道路やその施設等を中心に点検・修繕を薦め、市民が安全で安心して通行することができる道路環境づくりを行う。

計画の成果目標 (定量的指標)

歩行者等に危険とされる道路の対策を実施し、安全に交通できる環境整備について対策率100%へ上昇させる。
法的点検を実施し、老朽化した道路や施設の対策を講ずることにより、安心して交通できる環境を整備し、その対策率を上昇させる。

定量的指標の定義及び算定式

(氷見市道における交通危険箇所対策率) = (対策済み箇所数) / (要対策箇所数)

(氷見市道における老朽箇所対策率) = (対策済み箇所数) / (要対策箇所数)

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 中間目標値 最終目標値

(H27当初) (H29末) (H31末)

98% 100% 100%

50% 75% 80%

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	607 百万円	A	607 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
氷見市	令和3年8月
	公表の方法
	氷見市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業													事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H25	H26	H27	H28	H29													
氷見処理区																												
56-A1-1	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	公安	(他)南部中学校2号線 朝日丘	カラー舗装 L=400m	氷見市								3	-									
56-A1-2	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(1)堀田海老坂線他65路線 上田子他	舗装修繕 L=6,000m	氷見市								110	策定済									
56-A1-3	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他)御座町地藏線他35路線 地藏町他	歩行空間整備(側溝蓋掛) L=1,400m	氷見市								150	-									
56-A1-4	道路	雪寒	氷見市	直接		市町村道	雪寒	(他)向島湊線他29路線 比美町他	消雪施設更新 L=1,610m	氷見市								94	策定済									
56-A1-5	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	計画・調査	(他)道路のり面工等調査点検 市内一円	のり面工等点検 1式	氷見市								3	-									
56-A1-6	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他)堀田五十里線他292路線 堀田他	トンネル補修 6基、BOXカルバート 2基	氷見市								150	策定済									
56-A1-7	道路	雪寒	氷見市	直接		市町村道	除雪	(他)氷見大野線他4路線 大野他	除雪機械購入 3台	氷見市								62	-									
56-A1-8	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他)瀬間田4号線 泊	災害防除 L=43m	氷見市								15	-									
56-A1-9	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他)藪田農協線他1路線 藪田他	災害防除 L=60m	氷見市								20	-									
													合計					607										

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H25	H26	H27	H28	H29		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		生活道路における歩行空間の確保など安全対策の工事に取り組み、歩行者が安全に通行できる環境を整備した。 老朽化した道路構造物について、法定点検の結果に基づき補修を行い、安全で円滑な交通の確保を図ることができた。														
II 定量的指標の達成状況	氷見市道における交通危険箇所の対策率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因												
		最終実績値	100.0%													
	氷見市道における老朽箇所の対策率	最終目標値	80.0%													
		最終実績値	80.0%													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																

3. 特記事項（今後の方針等）

地区要望や道路パトロール等により新たに発見された危険箇所について、点検を行い対策を検討し、安心して通行できる歩行空間を整備していく。
道路構造物について、法定点検を実施し、老朽化した施設の対策を講じ、安心して通行できる環境の確保に向け補修を行っていく。